

平成28年度第4回社会教育委員会議抄録

日 時： 平成28年8月23日（火） 13時30分～15時30分

場 所： 西宮市教育委員会庁舎 大会議室

〔出席委員〕

| | |
|-----------|---------|
| 伊 藤 篤 | 高 瀬 秀 紀 |
| 中 野 睦 子 | 東 久 仁 夫 |
| 川 本 輝 子 | 片 山 幸 代 |
| 和 久 田 純 子 | 工 藤 好 彦 |
| 西 本 望 | 佐 藤 智 子 |
| 小 林 節 子 | |

〔行政出席者〕

| | |
|-------------|-------------|
| 西村 社会教育部長 | 大和 学校教育部長 |
| 中島 社会教育課長 | 中尾 放課後事業課長 |
| 合田 文化財課長 | 野田 人権教育推進課長 |
| 上田 中央公民館長 | 北 中央図書館長 |
| 澤田 北口図書館長 | 牧山 青少年育成課長 |
| 飯干 青少年補導課長 | 中村 学校教育課長 |
| 藤網 生涯学習推進課長 | 坂井 社会教育課係長 |
| 酒井 社会教育課係長 | 今福 社会教育課副主査 |
| 谷池 社会教育課主事 | 木村 社会教育課嘱託員 |

署名委員

_____ (印)

_____ (印)

平成28年度 第4回社会教育委員会議抄録

| | |
|-----------|--|
| 議長 | <p>定刻になりましたので、ただ今より平成28年度第4回社会教育委員会議を開会させていただきます。</p> |
| 事務局 議長 | <p>本日の出席者は11名です。 本日の傍聴はありますか。</p> |
| 事務局 | <p>ございません。 それでは議事の次第に従いまして協議に移ります。 協議第1号「社会教育委員会議への諮問について」、事務局よりお願いいたします。</p> |
| 社会教育部長 | <p>第3回の会議でも諮問の案について、皆様にお伝えさせていただきましたが、7月13日の教育委員会議において、正式に承認をいただきましたので、この度、西宮市教育委員会では、「活力を維持・発展し続けていくコミュニティ形成に必要な社会教育の在り方について」をテーマに社会教育委員会議に諮問をさせていただきます。</p> <p>本日は、教育長・教育次長ともに、公務の関係で欠席させていただいておりますので、諮問書を社会教育部長から議長にお渡しいたします。 (諮問書の渡し) 社会教育部長 → 議長 皆さまには、諮問書の写しをお配りしております。</p> <p>続きまして、社会教育部長からご挨拶をさせていただきます。</p> <p>本日、社会教育委員会議に諮問させていただくにあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。この度は、「活力を維持・発展しつづけていくコミュニティ形成に必要な社会教育の在り方について」をテーマに諮問をさせていただきます。</p> <p>国の動きとしましては、平成25年1月の中央教育審議会の生涯学習分科会における分科会の中の、今後の生涯学習・社会教育の振興の具体的方策について、「絆づくりと活力あるコミュニティの形成に向けた学習活動や体制作りの推進」について整理がされております。</p> <p>また、平成25年6月に閣議決定された第2期教育振興基本計画（平成25～29年度）では、今後の社会の方向性を「自立」「協働」「創造」の3つの理念の実現に向けた生涯学習社会の構築とし、教育行政の基本的方向性として、「社会を生き抜く力の養成」や「絆づくりと活力あるコミュニティの形成」などが挙げられています。</p> <p>本市では、「第4次西宮市総合計画」の「ふれあい 感動 文教住宅都市・西宮」の基本目標のもと、人と人、人と自然等の多様なふれあいの場を大切にし、心の豊かさを感じることのできる、中核市として一層魅力あふれるまちづくりを目指しています。この計画の実現のために、市民の社会参加や社会貢献に繋がる環境の整備と市民のもつ豊かな知識・経験など「市民力」を生かす「参画と協働」の社会づくりを進めています。</p> <p>また、本市におきましては、各地域で市民が参画して積極的に活動されている、多くの地域活動団体や組織の取組みがございます。</p> <p>このたびの諮問では、こうした活動内容等を把握しながら、社会教育の視点で検証を行い、活力あるコミュニティの形成が一層進められる方策や在り方についてお尋ねし、社会教育委員よりご意見をいただきたいと思っております。</p> <p>なお、審議にあたりましては、弾力的な方途で、自由闊達にご協議をお進めいただければと存じます。各委員におかれましては、ご多忙のところ</p> |

| | |
|----------------------|---|
| <p>議長</p> <p>事務局</p> | <p>恐縮に存じますが、何卒格別のご協力を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>このたびの諮問の趣旨について、ご説明いただきました。社会教育委員会議としても、委員はもとより、事務局の考え方も伺いながら、よい方策が示せるよう、しっかり協議してまいりたいと思います。</p> <p>それでは、今期審議についてのスケジュール等についてご説明ください。</p> <p>『資料1』は、文部科学省の審議会である「中央教育審議会」において平成25年1月に議論された概要です。参考までにお配りしております。</p> <p>それでは、今後の審議のスケジュールについてご説明いたします。</p> <p>『資料2』のスケジュール（案）をご覧ください。</p> <p>今期は2年の任期の中で、いただいた諮問に対して平成30年1月に答申書を提出予定です。本日の会議では、諮問の提出後に、前回の第3回の会議に引続き、本日は現状と課題の検証を行います。また、調査研究方法についても議論したいと思います。第4回会議では、場所を教育文化センターに移して、地域と連携した社会教育事業について、中央図書館と郷土資料館より説明いただき、その後施設の視察を行う会議を予定しております。</p> <p>また、第6回では公民館活動推進員の方に来ていただき、推進員活動の説明をお願いする予定です。12月頃まで調査研究を行い、調査内容も参考にしながら審議をし、答申書を作成していく方向です。先進市の視察なども考える場合は、次年度の予算もとるなども考えたいと思います。</p> <p>ありがとうございました。</p> |
| <p>議長</p> | <p>答申に向けてのスケジュールは、先ほどのスケジュール（案）で確認しましたとおり、今期は2年かけて審議をしていきたいと思いますので、平成30年1月に教育委員会へ答申書を提出する方向です。その間に、施設への視察や、各種関係団体へのヒアリングなどをとおして、理解を深めていきたいと考えていますので、委員の皆さんのご協力をよろしくお願い申し上げます。</p> <p>さて、これより、協議第2号「テーマについて」、審議に移りたいと思います。</p> <p>前回の皆様からのご意見を『資料3』に簡単にまとめておりますのでご覧ください。</p> <p>また、8つの要素が必要であり、この8つの要素からは、現在の状況だけでなく、少子高齢化が進む将来像を前提として、社会教育をどのようにしていくかを議論していく必要があるというご意見がありました。</p> <p>そして、活力あるコミュニティとはどのようなコミュニティかということについては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ①多世代（若い世代や働き盛り世代、高齢者）の交流が日常的にあるコミュニティ ②学校・家庭・地域の連携・協働がしっかりできているコミュニティ ③地域の共通課題を自分たちで見つけ解決していくコミュニティ <p>大きく、このようなコミュニティという共通認識であるということを、前回確認いたしました。</p> <p>ここまでで、何かご意見はございますか。</p> |

| | |
|----|---|
| 委員 | ②について、学校・家庭・地域の連携というのはもちろん大事ですが、学校・家庭・地域という表現は学校目線であり、地域企業、NPO などの多様な主体が連携するというのも大事だと思います。この3つに限らず、広がりのある表現にできればと思います。多様な主体（学校・家庭・地域など）という表現にしてはいかがでしょうか。 |
| 議長 | そうですね。多様な主体（学校・家庭・地域など）の方が、議論の際に意識できるかと思いますので、そのように変更させていただきます。 |
| 委員 | 企業などを含めたほうがよいという意見が出ましたが、人という視点や図書館や郷土資料館などの教育資源の活用というのも大事ではないかと思えます。 |
| 委員 | それをこの3つのどこかに含めるとすれば、③がよいのではないかと思います。資源を活用しながら解決していくという表現にすればいいかと思います。ただ、全てに関わることでもありますので、あえて4つ目としてあげるのもよいと思います。 |
| 委員 | ③に含めてもよいと思えますし、①～③の背景にあるものだと思います。生涯学習の環境整備というニュアンスも含むのかなと思います。具体的にツールというだけでなく、場がある、雰囲気があるというのも含めた実現の支えとなる環境なのかなと感じました。 |
| 議長 | その環境は①～③を通してできあがる側面もありますよね。 |
| 委員 | そうですね。相互循環の部分がありますね。 |
| 委員 | あえて入れなくても、話の中身で入っていればよいのではないかと思います。 |
| 議長 | 忘れないように入れておきたいとも思いますね。③のところに入れさせていただいてもよろしいでしょうか。教育資源を活用しながら地域の共通課題を自分たちで見つけ解決していくコミュニティとさせていただきたいと思えます。 |
| | では、前回、意見確認書の②の課題について、最後まで話ができませんでしたので、『資料3』の裏面に、皆さまからいただいた意見を元にいくつかサブテーマ（案）を挙げております。今後、協議を進めていく中で、いくつかのサブテーマに絞って、調査研究をしていきたいと考えています。 |
| 委員 | これについて、3つか4つに絞るなり、焦点化するなりしたいと思いますが、ご意見はございますか。 |
| | 先日送られてきました第6期中央教育審議会の資料を読ませていただいたなかで、家庭教育支援の充実非常に感心を持っています。その資料の中で、一番大事なのは子供の活動支援、親の育ちの支援、学ぶ機会の充実だと書かれていました。私は第1回会議でも申しましたように、情報が届かない人たちをどのように支援するかを考えています。兵庫県の社会教育委員会議総会でも徳島大学の教授が話をされるなど、重要な問題になってきていると思いますので、具体的にどうすればよいか深く考えたいです。 |
| 委員 | 今、委員がおっしゃったように、子供の活動支援、親の育ちの支援は非常に重要だと思います。特に西宮市は他の自治体と違って、流入人口が多いので、若い世代が増えています。そういう世代は地域に根ざしていないため、情報が届いていない可能性が高いと思います。正しい情報を伝える支援が重要だと思います。 |
| 委員 | 世代間交流が一番大事だと思います。各地区には、老人連合会、自治連合 |

| | |
|-----------------------------------|--|
| 委員 | <p>会、社会福祉協議会があり、それぞれが活動しています。例えば、名塩小学校では修学旅行で広島に行って平和学習をしています。旅行前に地域の人に戦争のことを話してもらうという機会を作っています。このような縦のつながりはありますが、それぞれの地域団体の横のつながりが少ないと感じます。横のつながりを強くするよう恒常的なプログラムを考えていけばよいと思います。</p> <p>①～⑦は相互に関係しあっているの、この中から1つというのは難しいと思います。方向性という意味で焦点化すると、社会教育はあまりにも広がりがあり、見えにくくなってしまいます。そのため、成果がより実感できるようなものがよいと思います。</p> <p>各地域でお祭りや運動会などを通して、世代間の関わりはできていると思います。その中で、④の人材育成と活用の仕組みをもっと取り組みたいと考えています。地域でやりたいことがあるときに、専門の知識や経験ある方の活力を有効に取り入れられたらと思います。</p> |
| 委員 | <p>④の人材育成についてですが、私が前にいた市の一部の地域では、中学生に何をしたいかアンケートをとりまして、大人が人材を集めて交流の場を作るという行事をやっていました。例えば、三味線をやりたいという子供がいたら先生を呼んで体験学習をしました。このように、育成だけでなく、地域の人材発掘も大切ではないかと思います。</p> |
| 委員 | <p>私は①の就学前の取り組みに着目したいです。尼崎のある幼稚園では、鹿児島のある事例例のように縦割りではなく横割りを取り入れています。そこでは子供がのびのびと育っており、あいさつもよくできています。そういう教育を就学前から取り入れていけばよいのではないかと思います。</p> |
| 委員 委員 | <p>その方法は、弊害もあるので注意をしないといけません。事故がおきたときにどうすればよいかという点については、私も説明を受けました。尼崎の幼稚園ではそれも考慮し、十分に注意をしているようです。</p> |
| 議長 委員 委員 事務局 委員 議長 | <p>⑤の家庭教育支援についてですが、今、格差の世の中になっています。子供にも格差ができていますが、そこで地域を活用していければと思います。子供食堂のイメージですかね。</p> <p>そうですね。</p> <p>今、西宮では何ヶ所ぐらいありますか。</p> <p>2ヶ所です。</p> <p>全国では300ヶ所ありますよね。</p> <p>国からの補助金がでていると思います。神戸市であれば子供の居場所づくりという名前でそういうことをする団体を募集しています。</p> <p>ここまで、多世代（特にシニア世代と小中学生）、就学前の取り組み、人材育成・発掘・活用の仕組み、家庭教育支援について取り組みたいとの意見が出されましたが、よろしいでしょうか。</p> <p>「意見確認書」③については、アプローチや調査研究の方法等について、ご意見をいただきました。</p> <p>地域によって、担っている人・担い方・内容も異なると思います。それぞれの地域ごとにケーススタディごとに調査をしていき、地域の課題の発見や活力ある地域の活動内容などを把握することが必要だと思います。</p> <p>また、コーディネーター的な人材をどのように育成するかということが課題であり、それぞれのキーパーソンに聞くことが必要だと思いますが、いかがでしょうか。</p> |

| | |
|-----|--|
| 委員 | <p>答申としてまとめることをイメージして考えていたのですが、コミュニティとして理想的な在り方に近づくために、西宮市としてどういう課題があるのかを考えたほうがよいのではないかと思います。課題の全体図をとらえてからそれに対するアプローチを考えたほうが上手くまとまると思います。</p> |
| 議長 | <p>西宮市全体の問題点は、そこまで細かくクリアに把握できていないと思うのですが、いかがでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>『資料4』で、市政ニュースでは、市内の活動には多くの地域の方が関わっているという広報をしています。</p> <p>また、『資料5』には、「地域活動団体・組織の活動調査票」として、18の地域で活動している団体を、各所管課に依頼してまとめています。</p> <p>これらをもとに、西宮市にはどういう課題があるかみなさまに調査していただき、それに対する解決策を考えていただきたいと思っています。この表からは、課題が「若い世代の参加が少ない」や「役員が高齢化・固定化しており、次の担い手が不足している」とあり、皆さまの意見確認書②の課題からも見えてきます。</p> <p>昨年の社会教育委員会議での答申では、学校・家庭・地域が連携していくためには、地域コーディネーターが必要だという課題が出ました。</p> |
| 議長 | <p>『資料5』を見させていただくと、役員がいない、人材が足りないなどが多く、いろいろな団体に共通の課題があるのが分かります。人材育成が鍵になると思いますので、多世代交流のなかでの人材育成、家庭教育支援の中での人材育成という流れでいいでしょうか</p> |
| 委員 | <p>そうですね、『資料1』の中央教育審議会の資料の中で、社会教育行政が抱える課題として地域コミュニティの変質への対応（コミュニティ再生への対応が不十分）と書かれています。確かに少子高齢化が進んでいる中で、西宮市に限らず、地域の担い手の方々が高齢になり、後継者がいません。そのため、アイデアがあっても、なり手がいないとできないという問題がこの中でも表現されていたと思います。少ない人数の中でどうやって効率的、効果的にやるか、潜在的にいるけど参加していない人にどうやって参加してもらうかを考えていければと思います。</p> |
| 委員 | <p>どの地域でも活動はしていますが、共通してあるのが、活動主体が高齢者ばかりで固定され、後継者もないということです。もう1つは若い方との価値観の相違です。具体的に言うと、見守り隊の活動について、子供たちはGPSをもっているからどこにいるか把握できるから必要ないという意見が出ました。そういった課題を持っている地域に対して、解決策を提案できたらと思います。</p> |
| 委員 | <p>課題が今7つに分類されていますが、分類されてしまったので、1つ1つが線引きされているように感じます。それぞれの団体は、それぞれの枠内で活動されていて、横のつながりがありません。横のまったく違う色の団体とつながっていけばよいのではないかと、また違った考え方がでてくるのではないかと思います。このことから、7つは、つきつめればすべてつながっていると思います。それを把握した上で考えていかなければならないと思います。</p> |
| 事務局 | <p>皆さんが意見を出すうえで参考にしてほしいのですが、社会教育はコミュニティ施策ではありません。コミュニティ施策に対して社会教育が何かをするという視点が必要です。コミュニティを高めるということは市をあげてやっていて、それぞれにコミュニティを支える所管課があります。社会教育はそれをとって変わってやるのではなく、それを更に進めるために社</p> |

| | |
|----|--|
| | <p>会教育という教育の視点で、アプローチをしていくことが大事だと思います。そこを混同すると、社会教育がコミュニティ施策になってしまいます。</p> <p>では、社会教育は何をするかという人づくりです。今各団体ではなり手がいないという課題がでています。しかし、西宮は49万人の人がいます。なり手がいないというのは人がいないのではなく、やろうとする人がいないということだと思います。そういう人を育てるというところに社会教育のできることがあると思います。例えば、見守りについて、保護者にもいろいろ意見があると思いますが、子供の安全のためにいろいろな人が見守ってくれているという共通理解はあると思います。その見守っている人たちが、ただ子供たちの安全の確保のために見守っているだけだと思ってしまうのいかということ。見守りによって地域の人との接点がそこで生まれている、地域の人との会話は、子供が社会とつながる大きな一歩となっている。その場だけの安全だけでなく、社会全体の安全につながると思います。見守られることによって、親だけでなく地域の人にも育てられているということを感じられ、地域の人たちも活躍しているという自覚が芽生えます。相互に育っていくことにより、子供たちが大人になったときに地域を担っていくという意識を持った子を育てていくことが大事だと思います。そのために社会教育として何を伝えなければならないのか、何を体験させないといけないのかというのを視点として考えていかななくてはならないと思います。</p> |
| 委員 | <p>個人的な意見ですが、確かに私たちの世代、つまり50代の人たちは、子ども会などにほとんど参加しないのです。ほとんどが女性の方で、男性に来てくださいと言っても忙しいからと言って参加してくれません。今は同じ子ども会でも男性が増えています。それでも足りないですが、光は見えているのかなと感じます。</p> |
| 委員 | <p>そうですね。家族で参加する行事をしますと、お父さんもたくさん出てくださっています。そのときにお声がけを私たちもしています。そうやって男性が出てこられる機会を作りたいと思っています。</p> |
| 委員 | <p>なぜ最近男性の方が増えているのですか。</p> |
| 委員 | <p>おそらく夫婦間で決めているのだと思います。私たちの世代では、ついてくる方がおかしいと言われましたが、今はむしろ一緒に来ないとだめだと言われます。こういった考え方の変化が原因だと考えられます。</p> |
| 委員 | <p>いつも夏祭りにはお父さんはあまり来ないのですが、最近お父さんの参加が多くなってきています。</p> |
| 委員 | <p>前にいたところでも、親父の会というのができてから、お父さんがお手伝いに来てくださるようになりました。どういう行事であれば参加しやすいのかを考え、若い人や男性が参加してくださるような魅力的な行事を開催すれば、より盛んになっていくのではないかと思います。</p> |
| 委員 | <p>私の地域にも青年部というのがありまして、お祭りの時にはお御輿やそうめん流しの担当をしてくださっています。そのため、すべての地区に青年部ができればいいと思います。</p> |
| 議長 | <p>戻りますが、西宮市の課題として、コーディネーター、ファシリテーターがないというのを1つの出発点としましょうという話があり、それに対するさきほどの意見の意図についてもう1度伺ってもよろしいでしょうか。</p> |
| 委員 | <p>私が先ほど言いましたのは、7つの項目に分類していただいてその中から1つ2つを確認しましょうというふうに考えていったとしても、西宮市の課題としてイメージとしてもらってらっしゃることだから、仮にこの文言が</p> |

| | |
|----------|--|
| 議長 | 出たとしても、相互にでてくるものだという事を言いたかったのです。多世代と家庭教育をとりあげて、その中でコーディネーターやファシリテーターの発掘・育成を中心に調べても、他の課題も出てくるということでしょうか。 |
| 委員 議長 | そうですね。そのことを了解しておく必要があるだろうなということです。ありがとうございました。 |
| 委員 議長 | 全体の方策は今のよう形で進めていってよろしいですか。 (了承) |
| 事務局 | ありがとうございました。 今後、各団体へのヒアリング等とおして、調査研究をすすめていただきたいと思います。調査研究について、ご意見ございますか。 調査票の中で、「コミュニティ協会」について、先日、所管課に直接お話を伺いする機会がありました。市内25の地域コミュニティで構成されており、すべて地域にお住まいの方々のボランティア活動によって支えられているとのことです。そして、9月頃役員会があり、そこにヒアリングをさせていただけるとのことでしたので、まずは、ご都合のつく委員は後日ご案内をいたしますので、ご参加いただきますようお願いいたします。別途西宮コミュニティ協会のパンフレットもお配りしております。 |
| 議長 | 調査票の中で、特色ある取組みをしている地区などをご存知の方はおられますか。 |
| 委員 | または、どのような調査方法があると思われますか。 『一ヶ谷(いちがや)』という地区があって、そこも高齢化が進んでいますが、『一花会(いちはなかい)』というのがありまして、そこに地域の高齢者が集まっています。それから、100円か200円で朝食を食べる朝食会というのがあります。また、いきいき体操という地域独自の体操があり、その後地域の方がお茶を飲んだり、麻雀をしたりしています。そういったことがモデルケースになって、県から助成金をもらっていたと思います。この地域を見ていると、高齢者の引きこもりが解消されています。こういった事例を参考にすればいいかと思います。 |
| 委員 | いきいき体操は西宮市全体でもやっていて、お年寄りでは遠方まではいけないので、各町の自治会館や集会などを借りて、近場でやっています。自分に合った手と足に重りをつけて筋力体操をします。非常に好評で、杖をつけていた80歳ぐらいのおばあちゃんが今は杖なしで歩けるようになっています。 |
| 委員 | 市内に18のいろいろな団体があるとのことですが、知らないですね。それを知らせることが重要ではないかと思います。それと、18の団体で1つのネットワークを形成して情報を流す仕組みがあればいいと思います。 先ほど、なり手がいないという話がありましたが、私の地域では順番にやっています。役員の人には自治会から手当てを出すようにしています。 |
| 議長 | それでは、調査研究については、12月頃までを目処にいくつかヒアリングなどを実施したいと思います。後日、改めて事務局よりご案内をいたしますので、お時間の都合が合いましたら、お一人できるだけ1箇所以上、積極的なご参加をよろしく願いいたします。 |
| 事務局 | ヒアリング等にご出席いただいた際には、出席者の方に『資料6』の「ヒアリング報告書」にまとめていただきたいと思いますのでよろしくお願い |

| | |
|----|---|
| 議長 | <p>いたします。また、地域と連携した取組みを行っている事業などにつきまして、図書館・郷土資料館での活動や、公民館推進員活動についても、会議で現場の方より説明を受けたいと考えております。</p> <p>ありがとうございました。 他にご意見はございませんでしょうか。</p> <p>続いて、報告事項第1号の「平成28年度兵庫県社会教育委員協議会総会・研修会の報告」に移りたいと思います。 7月13日（水）に神戸で開催され、総会には委員2名と事務局2名と私が出席し、研修会には5名に加え、委員1名にもご出席いただきました。 お忙しい中、ありがとうございました。 総会・研修会の資料をお手元にお配りしております。 11月14日（月）には、兵庫県社会教育研究大会がございます。今年度は、阪神南地区の役割分担はございませんが、平成29年度には、総合司会と分科会の役割が当たっております。その中でも、分科会につきましては、阪神南地区の3市の持ち回りで行っており、平成26年度は芦屋市が発表され、平成29年度は西宮市の発表となっております。次年度のことでございますが、何か提案がございましたら、事務局までご連絡をいただければと思います。 参考までに、平成26年度のレジュメをお配りしております。また、今年度の研究大会の開催案内はまだ県より来ておりませんが、次年度のために、できるだけご出席いただければと思います。 それでは、簡単に研修会の感想などを、ご出席いただいた委員にお願いしたいと思います。</p> |
| 委員 | <p>総会では、県協議会会長より、「若者の参加が少ないため若者も参加がしやすい環境をつくり、若者と地域をつなげる」という話がありました。兵庫県社会教育委員協議会表彰では、伊藤議長が（宝塚市社会教育委員として）表彰を受けられました。また、研修では、「地方創生と社会教育の新たな展開について」話がありました。研修会についてはとても分かりやすかったため、今後もこのような研修会には出席したいと思います。そして、レジュメの中で「社会教育委員の職務とこれからの社会教育委員のしごと」として書かれてあることについて、今後、社会教育委員として務めていきたいと思います。</p> |
| 議長 | <p>ありがとうございました。続きまして、報告事項第2号の「平成28年度阪神南地区社会教育委員協議会総会（役員会）の報告」に移りたいと思います。 7月21日（木）に、尼崎市で行われ、副議長と事務局、私が出席いたしました。 今年度の事業計画案及び予算案について、各市より承認が得られました。黄緑色の表紙の総会資料をお配りしておりますので、ご確認ください。</p> <p>また、11月末頃に、「阪神南地区社会教育委員協議会」での研修会を毎年開催しております。今年度は、尼崎市が会長市で、尼崎市において(株)地域環境計画研究所 代表取締役の「若狭健作（わかさ けんさく）」さんを講師とした研修会を予定しております。日程や研修内容等の詳細につきましては、3市で調整をしたうえで、委員の皆様へ改めてご連絡をさせていただきます。</p> |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | <p>だきたいと思います。また、研修会の後には、費用は自己負担となりますが、阪神南地区3市で尼崎市にて懇親会を予定しております。近隣市との情報交換などもございますので、是非ご参加いただけたらと思います。</p> <p>それでは、本日の会議は、これで終了いたします。 つづきまして、事務局から連絡をお願いします。</p> <p>「近畿地区社会教育研究大会（滋賀大会）」が9月9日（金）に滋賀県大津市で開催されます。 委員2名と事務局が出席いたします。どうぞよろしくお願いいいたします。 10月27・28日に開催の「全国社会教育研究大会（千葉大会）」については、先日ご案内をさせていただきましたが、希望者はございませんでした。</p> |
| 事務局 | <p>社会教育委員会議の議事録の公開についてですが、「西宮市附属機関等の設置・運営についての指針」11条（4）より、会議録についてはできるだけ公開が求められております。前回の会議の中で、皆さまからの合意が得られましたので、今年度からHP公開をしたいと考えております。「発言される委員名を記名しない」などとさせていただいており、このような形で後日、HPで公開いたしますので、ご確認をお願いいたします。また、本日お配りしております第3回の議事録も、いずれHPに公開しますので、内容のご確認をお願いいたします。</p> |
| 事務局 | <p>次回の会議は、10月18日（火）です。次回は、西宮市立中央図書館と西宮市立郷土資料館より、地域と連携した社会教育事業についての説明と、施設見学も兼ねての会議を予定しておりますので、場所を教育文化センターにて開催いたします。</p> |
| 議長 | <p>他に、ご意見がないようでしたら、本日の議事は終了させていただきます。それでは、これもちまして社会教育委員会議を終了させていただきます。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p> |